



見事なキャッチング!!

見事に第3位になりました！ 来年は距離を伸ばして挑戦してほしいです。



平均台に登るのも一苦勞でしたね。



名

物の「比内地鶏卵キャッチ」を知っていますか？ 卵をステージ上の平均台に乗って投げる人とステージ下で好きな距離だけ離れてそれをキャッチする人。一組2投で、キャッチに成功したときの距離で競い合います。もちろん卵を落としたり、キャッチしても割れたりしたらファウルです。私も楽しもうと、応援する人を探していると、ちょうど受付に申し込みに来た少年

が目にとまり、勝手にサポーターに立候補。挑戦する選手は、**平高士さん**(五日市)と**布袋屋裕盛くん**(桂城小4年)のコンビ。頑張つてと選手たちを送り出しましたが、いや〜この日はとにかく成功者が少なく、服が卵まみれになる参加者もいて、いや〜な予感が…。そして、いよいよ高士さんたちの出番。記録は……なんと2回とも成功！ そして第3位になりました(パチパチパチ)！ 裕盛くんキャッチ上手だね。秘訣は？ 「サッカーチームでゴールキーパーをやっているの、役に立ちました」と言うので「投げる人が上手だったんだよ！ 低くても高くてもダメ。ちょうど良い高さだね(笑)」とすかさず高士さん。商品は温泉入浴券5回分とのこと。「家族と行きたい」と裕盛くん。サポーターには商品ないのかな？

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

募集

ご町内でのイベントをお知らせください。
取材に伺います。広報広聴係 ☎43-7025

これまでの **936人**
登壇者数 **79,451人**
(H24.2.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせ、もじったものです。



ステージで独鈞嚢を披露した皆さん

行列の「かやき鍋」テント。取材しながら、なんともそそれる匂いがずっと気になっていたんですが、近くを通ると「完売です！」と威勢のいい声が……。落ち込む私と対比的に充実した笑顔を見せてくれたのが、JAあきた北生産部会の前部会長**阿部之義さん**(炭谷)。かやき鍋の出身は？ 「地鶏の肉と内臓、地元ハクサイなどの野菜とシイタケ。隠し味に生産部会の魂！ これがないと売れなかつたよ」と熱く語る。どのくらい売れました？ 「目標は2500杯だったが、近くまではいったんじゃないか？ 盛り方が目分量だったから(笑)」と笑い飛ばす之義さん。話を聞くと、これだけ売れても赤字とのこと。「収支の問題じゃない。こうやって地鶏を守っていくこと、地元への還元の気持ち。来た人たちに『おいしい』と言ってももらえれば、それでいい！」。魂のかやき鍋。来年は絶対に食べるゾ。

ラーメン、焼き鳥、中華まんなど。広報の取材がグルメリポーターが分からなくほど食べ歩いた比内とりの市。市民の皆さんからもたくさん笑顔をいただき、もうお腹いっぱいです！
では次回もあつてグッド！



之義さんと、とにかく明るく元気な「かやき鍋娘」の皆さん。



比内地鶏のかやき鍋 食べたかった一。